菊口繁子、木下一郎、小林こずい、西城満期子、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木勝弘、関田成美、関向晶子、高貝しづ子、田村雪江、滝沢久嘉、寺井美和子、中山美穂、中村正、沼澤岩男、根岸年男、野岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、星野辰子、増沢勝実、宮崎達夫、山崎美紀、吉田寛、若林紀美代

（富士見市教育委員会）飯田久子、上田寛、島田仁、鈴木美恵子、清水淳、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、中川和弘、成田淑美、羽田美代子、吉田信江、瀬戸加代子

〈整理作業参加者〉（敬称略）青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤綾那、臼井孝、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、寺井美和子、中田藤子、山口妙子

凡　例

1．本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

（1）縮尺は原則として

遺構配置図　1：300　　遺構平面図・遺物出土状況図　1：60、1：30　　炉などの詳細図　1：30

土器実測図　1：4　　土器拓影図　　1：4　　石器実測図　1：4、2：3　　銭　1：1

（2）遺構断面図の水糸高は海抜高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海抜高に同じ。

（3）遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

撹乱　　地山（ローム）　　焼土

土器　●　　石器　★　　黒曜石・チャート　▲　　礫　○

（4）土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

（5）遺物実測図における screen-tone の指示。

塗彩　　煤　　煤（タール状）

（6）土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。

2．住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3．本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2006（平成18）年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡･地点名	申請地住所	調査面積（㎡）	開発面積（㎡）	原 因	試掘期間	調査期間	備 考
1	西遺跡1地点	西2丁目2068番1,3,4/2069番1	3,000	3,467	共同住宅/分譲住宅	2007/3/12～26	2007/6/4～8/1	縄文遺構検出
2	北野遺跡1地点	北野2丁目2110番1の一部2112番1	44	408	分譲住宅2棟	2006/4/7		遺構遺物なし
3	北野遺跡3地点	北野1丁目3061番4		148	分譲住宅2棟	2006/4/28		遺構遺物なし
4	川崎遺跡21地点	川崎１-6-10の一部	124	298	個人住宅建設	2006/4/11	2006/4/14～20	平安住居跡1軒、溝検出
5	ハケ遺跡7地点	福岡3-2	130	666	宅地造成	2006/7/10～22		縄文.奈良平安遺構検出
6	滝遺跡第12地点	滝2丁目5-3の一部及び5-4の一部	80	472	個人住宅建設	2007/2/6		遺構遺物なし
7	長宮遺跡25地点	中丸1丁目4番地8	20	1,161	個人住宅建設	2007/2/15～16		縄文遺構遺物検出
8	長宮遺跡26地点	中丸1丁目4番地8	24	1,161	個人住宅建設	2007/2/15～16		縄文遺構遺物検出
9	亀居遺跡61地点	亀久保2-13-4の一部	88	171	個人住宅建設	2006/10/4	2006/10/10～10/13	縄文住居跡１軒縄文遺構検出
10	鶴ヶ舞遺跡10地点	鶴ヶ舞1丁目64番6	20	96	個人住宅建設	2006/6/5		旧石器礫群検出
11	鶴ヶ舞遺跡11地点	鶴ヶ舞1丁目65番2,6	420	1,316	建物解体工事	2006/9/21～10/5		遺構遺物なし
12	松山遺跡37地点	松山2丁目6番10,13	60	228	個人住宅建設	2006/4/13		遺構遺物なし
13	松山遺跡38地点	仲1丁目4-3,9,12,13,24	76	2,176	宅地造成	2006/5/29		遺構遺物なし
14	松山遺跡39地点	築地2丁目3-10	330	937	宅地造成7区画	2007/1/10～20		遺構なし
15	松山遺跡40地点	築地1丁目1-5	500	1,047	宅地造成7区画	2007/2/2～8	2007/2/21～3/9	奈良住居跡1軒、中世遺構検出
16	松山遺跡41地点	中ノ島1丁目2-5	330	1,281	宅地造成9区画	2007/2/7～9	2007/2/21～3/5	中世遺構遺物検出
17	松山遺跡42地点	仲2丁目3番15	12	108	個人住宅建設	2007/2/13		遺構遺物なし
18	江川南遺跡21地点	東久保1-29-1	24	99	個人住宅建設	2006/10/11		遺構遺物なし
19	江川南遺跡22地点	東久保132-11	90	208	分譲住宅2棟	2006/10/11～11/6	2006/11/7～11/9	旧石器礫群検出
20	江川南遺跡23地点	東久保1丁目121番1	610	1,011	分譲住宅9棟	2007/1/24～2/1	2007/2/19～3/16	旧石器礫群、縄文住居跡1軒、縄文遺構検出
21	江川東遺跡11地点	東久保1丁目162番1,14	200	674	分譲住宅	2006/11/9～11/15		遺構検出
22	江川東遺跡12地点	東久保1丁目27-3	6	72	宅地造成	2006/11/10		遺構遺物なし
23	江川東遺跡13地点	東久保1丁目155番4	24	114	個人住宅建設	2006/8/11		遺構遺物なし
24	東久保遺跡64地点	ふじみ野2丁目18-6の一部	112	437	共同住宅建設	2006/10/12～10/20	2006/10/24～26	中世～近世溝検出
25	東久保西遺跡17地点	ふじみ野2丁目9番1,2,3	220	919	共同住宅建設	2006/10/26		遺構遺物なし
26	東久保西遺跡18地点	ふじみ野2丁目11-8,11-15	128	478	個人住宅建設	2007/1/16～19		遺構遺物なし
27	東中学校西遺跡28地点	ふじみ野1丁目1-13,14,15,32,23	680	1,568	共同住宅建設	2006/4/24～5/10		遺構遺物なし
28	東中学校西遺跡29地点	ふじみ野4-4-1	600	2,004	店舗建設	2006/5/15～19,7/28～8/1		縄文土坑検出
29	東中学校西遺跡30地点	ふじみ野3-10-13	56	634	保育所建設	2006/7/3		遺構遺物なし
30	駒林遺跡1地点	駒林土地区画整理事業地内20街区4.8.9	146	646	共同住宅建設	2006/7/13～8/2		堀跡、茶毘跡検出
31	駒林遺跡2地点	駒林土地区画整理地17街区7,8の一部	80	421	専用住宅建設	2006/11/21～29		堀跡検出
32	駒林遺跡3地点	駒林土地区画整理地21街区3.4画地	333	1,916	店舗建設	2006/11/30～12/18		近世遺構検出
33	西ノ原遺跡135地点	うれし野1丁目226-1	1,160	3,342	集合住宅･店舗建設	2006/3/14～4/28	2006/5/29～6/19	縄文住居跡1軒、炉穴検出
34	西ノ原遺跡136地点	苗間1-13-22,23	44	630	学生寮	2006/6/23		遺構遺物なし
35	西ノ原遺跡137地点	うれし野2丁目17番5,6,7	208	861	共同住宅建設	2006/8/3～7		遺構遺物なし
36	西ノ原遺跡138地点	旭1丁目4-7,4-8	40	247	個人住宅建設	2006/11/21～22		遺構遺物なし
37	西ノ原遺跡139地点	うれし野1-4-4,5,6	16	474	共同住宅建設	2007/2/1		遺構遺物なし
38	神明後遺跡28地点	苗間神明後306-1	1,200	2,171	宅地造成	2006/5/8～31	2006/6/29～10/5	縄文住居跡11軒、集石、炉穴、溝検出

第９章　鶴ヶ舞遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

鶴ヶ舞遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～900ｍ程下った左岸に位置している。標高21～23ｍで現谷底との比高差は５ｍを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は約200ｍ西に亀居遺跡、約150ｍ南に江川南遺跡、約200ｍ南東に東久保遺跡がある。

1987年の最初の調査から2008年１月現在、11地点で試掘及び発掘調査が行われ、旧石器時代の石器、縄文時代の炉穴、落し穴、平安時代の溝を検出し、平安時代の須恵器壷が出土している。

Ⅱ　鶴ヶ舞遺跡第10地点

（１）調査の概要

調査は個人住宅の建替えに伴うもので、原因者より2006年６月１日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東側に位置し、福岡江川の北側斜面地にあたる。原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2006年６月５日に行った。幅約２ｍのトレンチ１本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、遺構らしき覆土を検出したため、確認のため掘り上げたところ土地境の根切り溝であった。

さらに、溝跡の地山に礫を検出したためローム層を掘削した結果、旧石器時代の礫群１基を検出した。確認面まで30～70㎝を測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

（２）遺構と遺物

礫群　トレンチ北端の壁際で検出した。

Ⅲ　鶴ヶ舞遺跡第11地点

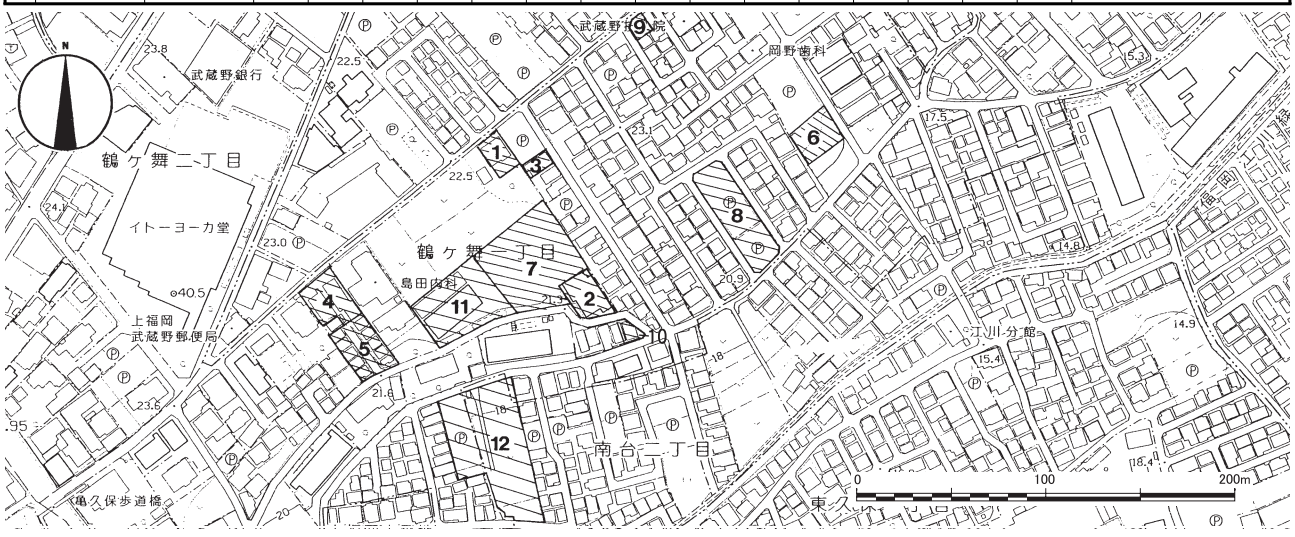
（１）調査の概要

調査は事業所解体工事に伴うもので、原因者より2006年６月７日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央西側、福岡江川へ向かう北側斜面地になる。隣接する第７地点で旧石器時代の礫群と石器群を検出しているため、原因者と協議の結果、遺構確認の試掘調査を実施した。

調査は2006年９月21日から同年10月５日まで行なった。幅約２ｍのトレンチを９本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。確認面まで20～30㎝を測る。敷地内は事業所の建設時における地山の削平と、基礎撤去時の撹乱を受けていた。遺構・遺物は検出しなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し調査を終了した。

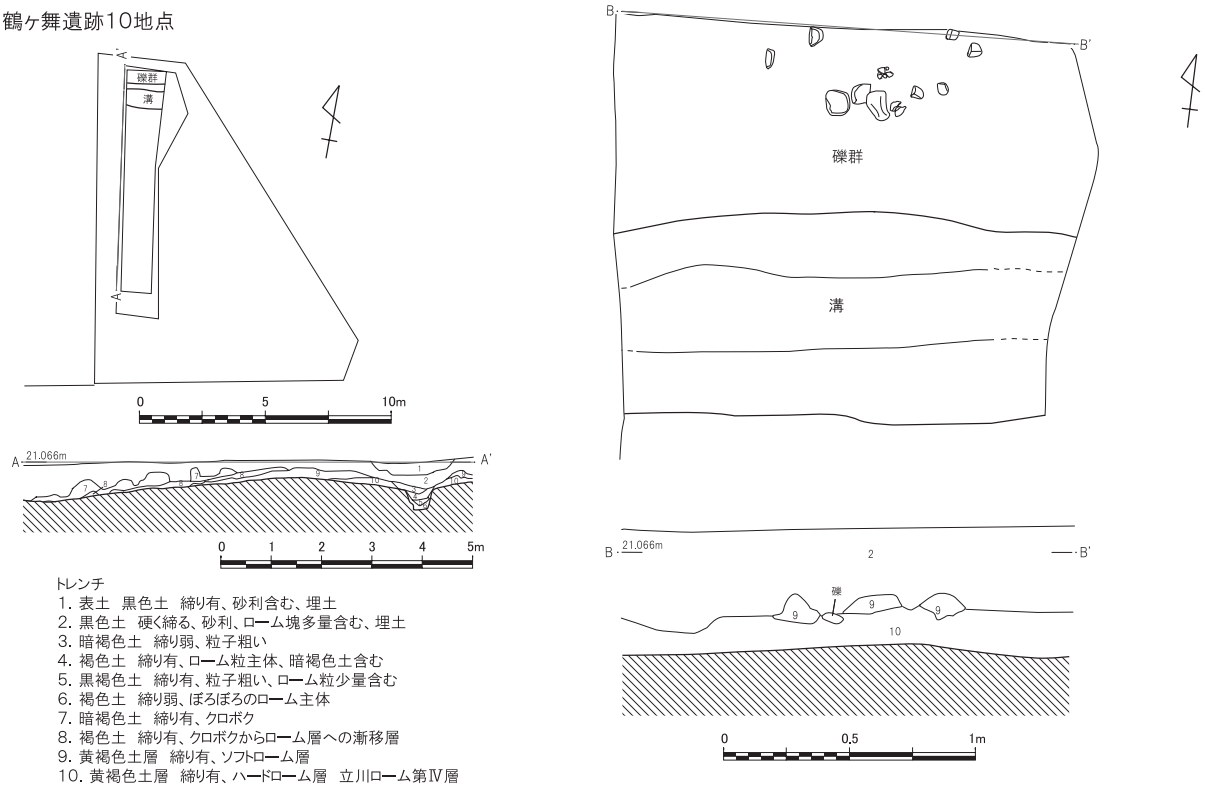
第19表　鶴ヶ舞遺跡第10地点礫群一覧表　（単位㎝・g）

No	平面形態	礫範囲	厚さ	礫数	重量	赤化				煤・タール				完形礫（%）				備考
						個数	重量	個数比	重量比	個数	重量	個数比	重量比	個数	重量	個数比	重量比	
1	散在	90×40	17	12	2,014	10	1,141	83.3%	56.7%	6	378	50.0%	18.8%	9	1,910	75.0%	94.8%	



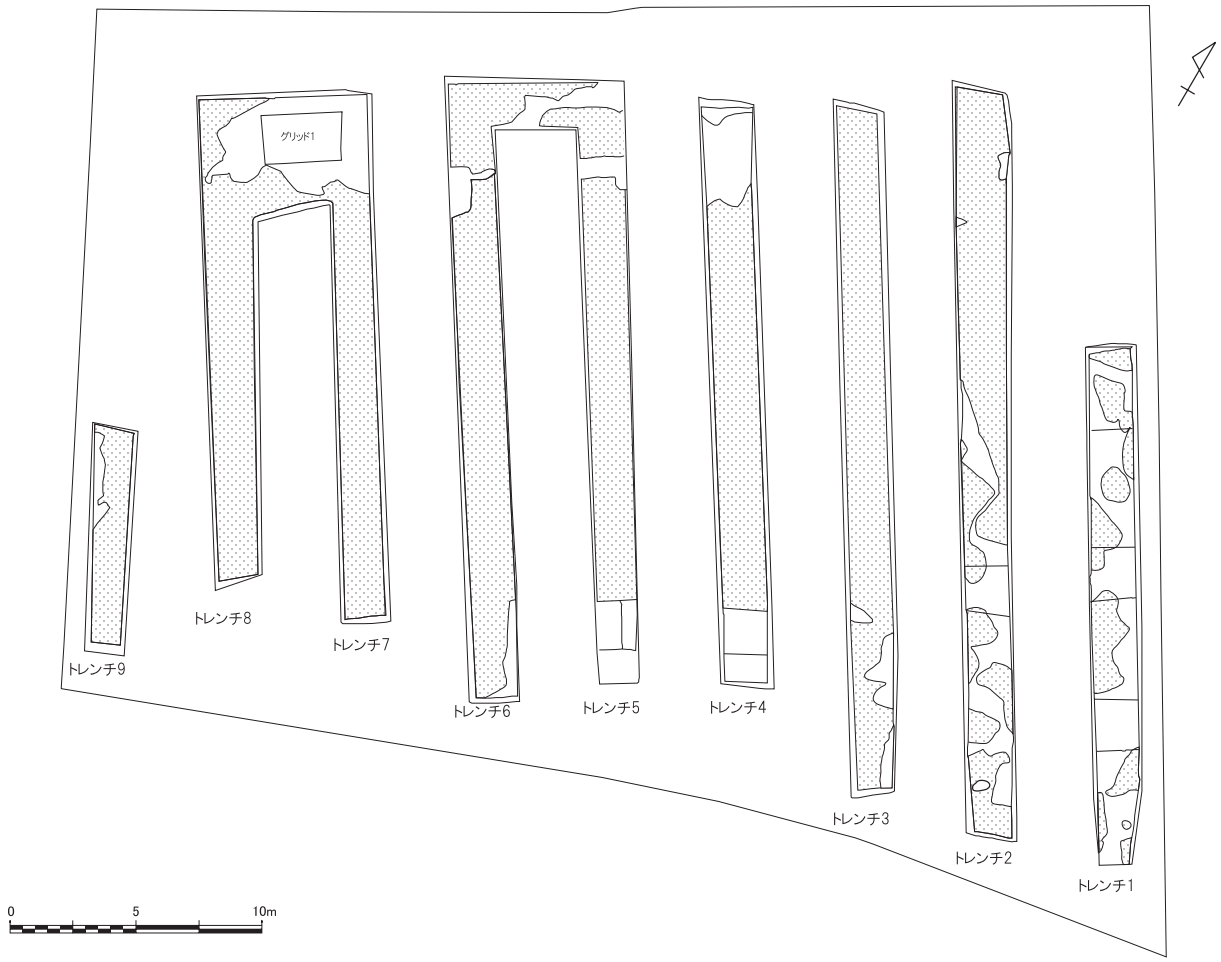
第25図　鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区（１/4,000）

鶴ヶ舞遺跡10地点



トレンチ
1. 表土　黒色土　締り有、砂利含む、埋土
2. 黒色土　硬く締る、砂利、ローム塊多量含む、埋土
3. 暗褐色土　締り弱、粒子粗い
4. 褐色土　締り有、ローム粒主体、暗褐色土含む
5. 黒褐色土　締り有、粒子粗い、ローム粒少量含む
6. 褐色土　締り弱、ぼろぼろのローム主体
7. 暗褐色土　締り有、クロボク
8. 褐色土　締り有、クロボクからローム層への漸移層
9. 黄褐色土層　締り有、ソフトローム層
10. 黄褐色土層　締り有、ハードローム層　立川ローム第Ⅳ層

鶴ヶ舞遺跡11地点



第26図　鶴ヶ舞遺跡第10・11地点調査区域図（１/300）土層図（１/150）第10地点礫群（１/30）



亀居遺跡第61地点集石２



亀居遺跡第61地点土坑１



亀居遺跡第61地点試掘調査



亀居遺跡第61地点本調査



鶴ヶ舞遺跡第10地点礫群



鶴ヶ舞遺跡第10地点溝



鶴ヶ舞遺跡第11地点試掘調査



鶴ヶ舞遺跡第11地点トレンチ